

TEAM FUKUOKA NEWS 2023

福岡県選手団ニュース R5. 9.19 Vol.2



特別国民体育大会「燃ゆる感動かがしま国体」会期前競技 2、3日目

会期前実施競技2日目の9月17日(日)は水球の少年男子が、3日目の18日(月)は水球の女子、飛込の少年男子、少年女子、オープンウォータースイミングの男子、女子が行われ、各地で本県選手団の健闘が光った。

水球競技 全国の壁厚し。次の佐賀国スポで勝利を目指す！

水球競技が鴨池公園水泳プール(鹿児島市)にて開催され、2大会連続出場の少年男子は三重県チームと対戦した。三重県チームは、本年インターハイで準優勝した四日市中央工業高校を中心とした強豪チーム。果敢に攻撃を仕掛けたが4-17で敗れた。キャプテンの佐藤和哉選手(福岡工業高校)は「結果としては残念だが、作戦としていたカウンターが決まったところは良かった」とコメント。

2日目は女子のリーグ戦が行われた。本県選手団は残念ながら予選リーグ敗退となったが、本国体初出場という大きな一歩を踏み出した。今後の飛躍に期待したい。次回の佐賀国スポでは、両種別で勝利を掴んでほしい。

※水球の女子種別は、令和元年度に正式種目として採用。



【本県選手団の様子】

口脇選手が見事2位入賞果たし、本県の最初の入賞者に！！

鴨池公園プール(鹿児島市)にて飛込競技(少年男子、少年女子)1日目が開催され、少年女子に出場した口脇祐美選手(東海大学付属福岡高校)が高飛込で2位となり、本県最初の入賞を果たした。この入賞が本県にとって良い流れとなり、今後も多くの入賞を獲得できることを期待したい！

口脇選手は、鹿児島県に入った後に、肩を負傷したが、動きに気を付けて試技を行った結果、1本目に今大会の最高得点69.60点を叩き出した。

演技終了後、口脇選手は「今日の試技で納得のいかない部分を改善して、明日の種目に臨む」と前向きなコメント。2日目の飛板飛込にも入賞の期待が高まる。

飛板飛込少年男子で12位となった梶原朝陽選手(筑紫台高校)は「練習通りに試技をしようとしたが、緊張感が上回り思うように体を動かすことができなかった。明日の高飛込では切り替えて入賞をできるように頑張ります」と力強く意気込みを語ってくれた。



【竹川監督、口脇選手】

オープンウォータースイミング 惜しくも入賞まであと一步届かず！

一湊海水浴場特設オープンウォータースイミング会場(屋久島町)にて、オープンウォータースイミング競技(男子、女子)が開催された。高原桜唯選手(福岡中央高校)16位、諸熊雄大選手(日本体育大学)10位で、男女共に入賞とはならなかったが、両選手とも屋久島の海で素晴らしい泳ぎを見せてくれた。次回の佐賀国スポでの入賞に期待したい。



【諸熊選手、中村監督、高原選手】

【今後の会期前競技の競技日程】

- 9月19日(火) 水泳(飛込)
- 9月20日(水) ゴルフ競技
- 9月21日(木) ローイング競技 体操競技(競技) レスリング競技

※ 頑張れ！チーム福岡！